

自閉症の問題行動と視覚支援 行動分析学による対応方法の複雑性の考察

○ 古林紀哉 (古林療育技術研究所)

KOBARITE

問題行動への答え！ その鍵はルール支配行動にあり

問題行動の分類

	内容	具体例
I	不適切な表現	泣く、パニック、癩癩
II	求められる行動の不履行	着替え、歯磨き (をしない)
III	不適切な行動の実行	不適切な時間での遊び
IV	迷惑な拘り行為	壁叩き、物の位置を直す
V	異常な行動	自傷、他害、破壊

既存の支援方法 → IIIの抑制は複雑

	ABA(応用行動分析)	TEACCH・見通し
IIの 実行	目標行動の直後に報酬を与え、目標行動を強化	スケジュール表で目標行動を見せて誘導
IIIの 抑止	不適切な行動を罰で弱体化 ※効果が殆どない 代替行動の直後に報酬を与え、代替行動を強化 【代替行動分化強化】 複雑	不適切な行動と×印を視覚化 ※効果が殆どない

単純なルール支配行動のパターン

ルール支配行動とは、見通しにより自発・自制する行動。行動分析学の専門用語では、「随伴性の記述の自己教示」を弁別刺激とするオペラント行動のこと。

	随伴性 (見通し)	見通し	行動
Pt.1	好きな物事 → 好きな物事	良い見通し	自発
Pt.2	嫌いな物事 → 好きな物事	良い見通し	自発
Pt.3	好きな物事 → 嫌いな物事	悪い見通し	自制
Pt.4	嫌いな物事 → 嫌いな物事	悪い見通し	自制
Pt.5	好きな物事 → わからない	見通し不明	自制
Pt.6	嫌いな物事 → わからない	見通し不明	自制

なぜ健常児は問題行動がない？

健常児も、II、IIIの問題行動は起こしている。健常児には、自然にルール支配行動が働き、問題行動は徐々になくなっていく。

	IIが解消する過程	IIIが解消する過程
初めの頃	しないで怒られた。終わったら遊べた。	やったら怒られた。
その後に働く見通し	しないと怒られる。終わると遊べる。	やると怒られる。
結果	嫌いな事でも、 自発	好きな事でも、 自制

ASDの特性と問題行動が続く理由

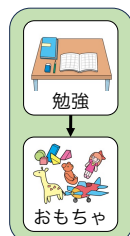
ASD児は、見通しを立てるのが苦手。見通しがないと、ルール支配行動ができない。そして問題行動は続いていく。

見通しの機能細分	自閉症児	健常児
見通しを立てる	×	○
言われた見通しを保持する	×	○
見せられた見通しを理解する	○	○
見せられた見通しに抗う	×	○

ASD児も、見せられた見通しは理解できる。見通しを見せて、ルール支配行動に導く支援は可能。

見通し視覚支援の効果と限界

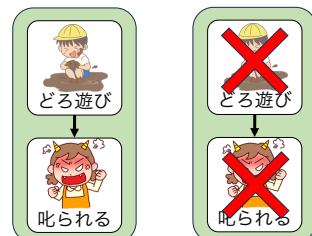
自発の見通しの視覚化



導かれる自発



自制の見通しの視覚化



理解困難



結論と提言

学会後のコンタクトはこちらへ
n-kobayashi@kobarite.co.jp (古林紀哉)

- 問題行動の分析はルール支配行動のモデルで可能。
- 仮に、自制を導く見通しの視覚化ができれば、問題行動の解決は容易。【今後に期待】
- 現状では、不適切な行動の抑制は周りくどい手法に頼らざるを得ない。